

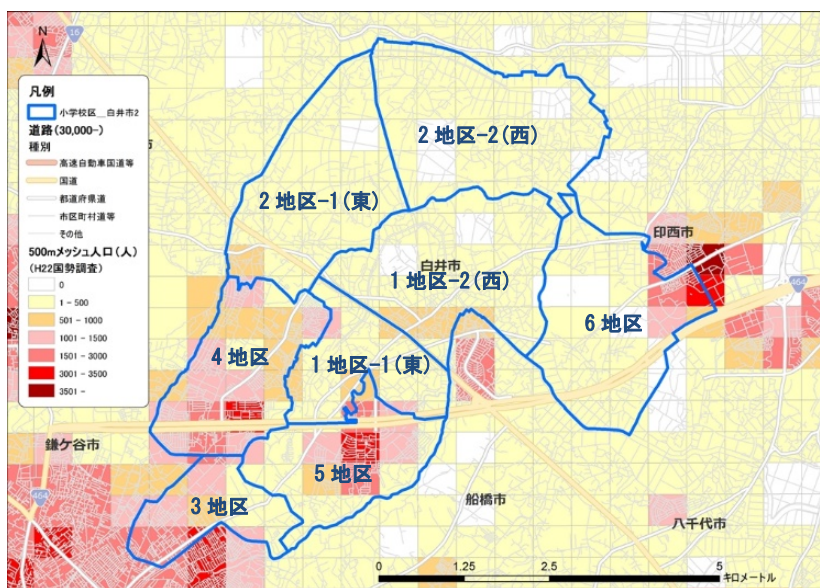
市民アンケート調査及び関係者ヒアリング調査について（案）

【市民アンケート調査】

1. 調査区域: 白井市市内8区域

＜区域設定の考え方＞

- ・ 白井市都市マスタープランの地区区分（6地区）を原則とする。
- ・ 第1地区（第一小学校区）及び第2地区（第二小学校区）は、区域が広く同じ地区内であっても、生活圏や人の動き（パーソントリップ）が異なるものと予想されるため、主要な幹線道路（第1地区は国道16号、第2地区は市道00-001号線（河原子街道））を境として2つのエリアとする。



2. 調査サンプル数: (配布数: 3, 500票)

＜配布数設定の考え方＞

- ・ 各地区ともに回収数（B）が各地区ともに100票を越えるように設定。
- ・ 人口が多い地区（3～5地区）については人口に対するサンプル率 $(B) / (A)$ が他の地区に比べ低くなってしまいうため、パーソントリップ調査などでも1地区2%以上が回収実体であることを踏まえ、人口に対するサンプル率が2%以上になるように設定。
- ・ 2地区-2（西）については人口が他の地区に比べ少ないため、回収数100票の目標は維持しつつ、配布数を減少。

	人口総数 (人) (A)	世帯数 (世帯)	配布 部数	想定 回収率	世帯 回収数	世帯当たり 回収数	個票 回収数 (B)	人口に対する サンプル率 (B)/(A)
1地区-1(東)	3,967	1,390	300	35%	105	1.5	158	3.98%
1地区-2(西)	3,303	1,137	300	35%	105	1.5	158	4.78%
2地区-1(東)	2,497	848	300	35%	105	1.5	158	6.33%
2地区-2(西)	1,225	313	250	35%	88	1.5	131	10.69%
3地区	9,876	3,589	500	35%	175	1.5	263	2.66%
4地区	18,000	6,476	800	35%	280	1.5	420	2.33%
5地区	13,260	4,801	650	35%	228	1.5	341	2.57%
6地区	6,376	2,085	400	35%	140	1.5	210	3.29%
合計	58,504	20,639	3,500		1,225		1,839	3.14%

出典: 平成22年国勢調査

3. 調査内容: 別添資料1のとおり

【関係者ヒアリング調査】

1. 対象者と実施内容案

1) 交通事業者

分類	名称	主に把握したい内容
①鉄道事業者	・北総鉄道	・鉄道の利用傾向、課題 ・市内全体の公共交通の課題 ・今後の改善の取組みへの意向
②バス事業者	・ちばレインボーバス ・船橋新京成バス ・鎌ヶ谷観光バス	・路線別の利用傾向、課題 ・市内全体の公共交通の課題 ・今後の改善の取組みへの意向
③タクシー事業者	・エミタスタクシー白井(株) ・(有)白井タクシー 千葉県タクシー協会加入事業者	・タクシーの利用傾向、課題 ・市内全体の公共交通の課題 ・今後の改善の取組みへの意向

2) 関係団体

分類	名称	主に把握したい内容
①工業団地	・白井工業団地協議会	・通勤実態、通勤交通の課題 ・送迎バスの運行実態、利用実態 ・公共交通利用の可能性
②商工会議所	・白井市商工会	・商工活性化の視点におけるまちづくりと一体となった公共交通の今後のあり方
③社会福祉協議会	・白井市社会福祉協議会	・移動制約者の移動実態、課題 ・市内全体の公共交通の課題 ・今後の公共交通の対応の必要性

3) 関係施設

分類	名称	主に把握したい内容
①病院	・千葉白井病院 ・北総白井病院 ・白井聖仁会病院	・通院者の通院実態、通院時の交通手段の課題 ・送迎バスの運行実態、利用実態 ・市内全体の公共交通の課題 ・今後の公共交通の対応の必要性
②福祉施設	福祉施設は市担当課へのヒアリングを実施したうえで、福祉有償運送事業者を対象としたヒアリングを想定。 (市担当課) ・白井市高齢者福祉課 ・白井市社会福祉課 (福祉有償運送事業者) ・ケアグループあい・あい ・フラット ・地域生活支援センター一歩 ・コラボしろい	・交通弱者の移動実態、課題 ・交通弱者への外出支援策の実態、課題 ・市内全体の公共交通の課題 ・今後の公共交通の対応の必要性

2. 調査内容:別添資料2のとおり